

令和 6 年度 学校評価書 ( 計画段階 )

福岡県立 福岡工業(定) 高等学校

48

<b>スクール・ミッション</b> <small>(本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</small>	地域に根ざした工業人材を育成する定時制高校 (工業人材の育成を柱として、生徒一人一人のニーズに対応するきめ細かなサポート体制のもと、基礎的・基本的な学力の定着を図ります。)	
<b>スクール・ポリシー</b> (三つの方針)	グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)	○自律心と豊かな心 ○創造的・実践的な技術者として必要な力 ○自己教育力
	カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)	○ICTの活用 ○基礎学力向上 ○工業に関する基礎的・基本的な知識・技術の習得 ○資格取得の推進 ○「ものづくり」を中心に据えた体験活動
	アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)	○工業分野に興味・関心がある ○学習意欲が旺盛である ○将来の目標をもっている ○積極的に部活動や学校行事へ取り組む ○基本的生活習慣を身につけている

学校運営計画(4月)			
学校運営方針	文武両道を校是とし、基礎的・基本的な学力の定着を図り、豊かな人間性と創造的な知性を備え、地域に根ざした工業人材を育成する。 1 校訓「質実剛健 自律 創造」を体現する生徒の育成を目指した教育活動を全教職員で推進する。 2 次代を担う工業人材を育成するリーダー校としての責務を果たすべく、ものづくり教育を通して工業高校として魅力ある学校づくりに邁進する。 3 社会の変化やニーズに対応し、地域に愛される学校を目指すべく、職員間の情報共有と教育活動のスパイラルな改善サイクルの確立を図る。		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<成果> 職員や保護者、SC、SSW等の連携を密にすることにより、適切な生徒の実態把握によって積極的な生徒支援を実現するとともに、生徒の知的好奇心を高める授業、生徒会執行部を中心とした学校行事の活性化、キャリア教育の充実による卒業生の進路実現を果たすことができた。 <課題> 社会の発展と文化の創造に貢献できる工業人材育成のため、「指導と評価の一体化」と「生徒のICT活用」をさらに進め、基礎的な知識・技能の確実な定着と、思考力・判断力・表現力や主体的に学習に取り組む態度の育成のための研修と実践を継続する。	自ら学ぶ力の育成	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善、教科指導力の向上を図る。 新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりと観点別評価を充実させる。 一人一台端末等のICT環境の活用による個別最適な学び、協働的な学びを推進する。 個別対応、自己学習力育成へ向けた方策を充実させる。	
	自ら考え行動する力の育成	生徒会執行部を中心とした生徒の主体的活動による行事運営を推進する。 積極的生徒指導による自律心の育成、規範意識の向上を図る。 ネットマナー、いじめ防止等への取組を推進する。 教職員間の情報共有および外部機関との連携による教育相談体制を充実させる。	
	キャリア教育の充実	キャリアパスポートの活用や外部との連携によるキャリア発達を支援する。 工友会等を含めた学校全体としての組織的進路指導の充実を図る。 進路意識の向上を図るガイダンス等関係行事を効果的に実施する。	
	信頼される学校づくり	学校ホームページ等による教育活動の積極的な情報発信を行う。 生徒情報の共有等のための中学校との連携強化を図る。	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教科指導	教科指導の改善	一人一台端末等を活用し、到達目標を定めた授業展開の構築を推進する。	生徒授業アンケート	
		生徒の活動場面を意識した授業づくりやほめ鍛えることで、学習意欲を向上させる。		
	自己学習力の育成	対話的授業等により分かりやすい授業を目指し、生徒の自己学習力の育成に努める。 ICTを活用することで、主体的に学ぶ態度と学力の定着を図る。	生徒授業アンケート	
評価手法の研究推進	生徒の活動を多面的にとらえる評価の実践を推進する。	生徒の活動を多面的にとらえる評価の実践を推進する。	生徒授業アンケート	
		観点別評価の更なる工夫について適宜情報提供を行い、指導と評価の一体化を推進する。		
生徒指導	生徒の自立心の育成	毎日の登校指導や言葉遣いの指導等を通して規範意識を持たせる。 生徒が自ら考えて判断する場面を設定することで、自己決定力を育成する。	学校生活アンケート	
	生徒会執行部の育成	執行部会議を定期的に行い、行事ごとの意見を出し合う場を設ける。 協調性を身に付けさせ、行事の日程や行程の情報共有を図り、責任感の向上に努める。	学校生活アンケート	
	ネットマナー・いじめ防止等の推進	SNS上での被害調査を行うと同時に、専門家の意見を聞く場を設定し啓発活動に努める。 毎月のいじめ対策委員会と連携をとり、いじめの未然防止と共に生徒の居場所づくりに努める。	いじめに関するアンケート	
進路指導	進路実現への主体的行動の育成	生徒自ら早期に進路選択ができるよう、求人票、高卒就職情報webサービス、OC等の情報を紹介する。 進路実現に向けて、就職試験等において大切な言葉遣いや礼節等を常に意識し行動できるよう自覚させる。 進路意識の向上を図るガイダンス等の関係行事を行う。	進路希望調査に係るアンケート	
	進路行事の効果的実施	同窓会(工友会)及び公共職業安定所等との密な連携を図る。 キャリアパスポートの活用や社会人講話を通して、キャリア意識を高める。	進路講演会アンケート	
保健・給食指導	主体的な健康課題解決能力の育成	健康診断の結果や日常の場面を通して、個々の健康課題に気づかせ、改善のための助言や支援を行う。 生活習慣等の調査を実施し、個々の生徒の課題を把握し、支援を行う。	給食・生活に関するアンケート 夏休み明けアンケート	
	食を通じた自己管理能力の育成	給食の時間を通してマナーの向上や食事を通じた人間関係を形成する。 食習慣に関する調査を実施し、見えてきた課題から食に関する情報を発信し、食への関心を高める。	給食・生活に関するアンケート	
人権教育	人権意識の涵養	全教科・全領域において、生徒の自尊感情を高め、人権尊重の精神の育成に努める。 職員の人権意識の向上を図り、人権尊重の視点に立った学校づくりを推進する。	人権学習アンケート	
	人権学習の充実	人権学習に視聴覚教材やICT機器等を積極的に取り入れ、具現化を主導し、わかる授業を推進する。 外部人材の積極的な活用を通じて、人権尊重の重要性を内面化させる。	人権学習アンケート	
研修	計画的な研修の実施	生徒の学習状況、学校生活、家庭状況の実態把握に努め、全職員で情報を共有し、指導に活かす。 教務、生徒指導、人権教育等の各部署と連携した内容で校内研修を実施する。	学校生活アンケート	
	外部との連携の充実	SCやSSW等と連携し、チームによる生徒支援体制の確立を図る。 職員のICT活用能力の向上につながる研修を行い、情報の提供と意識の啓発に努める。	援助要請教育に関するアンケート	
保護者及び地域との連携等	地域への積極的な情報発信	定時制の魅力を積極的に発信するために、HPと学校案内パンフレットを再構成するとともに、HPの更新頻度を高める。	保護者アンケート	
	保護者との連携強化	生徒の安全な学校生活のために福工大安心メールを活用し、必要な情報を保護者及び地域にも積極的に発信する。	保護者アンケート	